

# 平成28年度事業報告

平成28年度は、平成28年3月の第8回理事会の議決を経た事業計画に基づき、道路橋点検士技術研修会、橋梁保全に関する調査研究等の自主研究、講演会、国際シンポジウム、助成、国内外の支援活動、広報及び橋梁の診断業務等を実施した。

## 1 実施事業等

### 1-1 研修等

#### (1) 道路橋点検士技術研修会

道路橋の点検を担う点検技術者の技能向上や信頼性確保のため、平成28年度は道路橋点検士技術研修会を9回実施した。平成28年度の研修修了者は1,230名、平成6年度からの累計開催数は計89回で、累計の研修修了者は12,520名となった。また、道路管理者を対象とした道路橋点検技術講習会を1回開催し、91名が受講した。

さらに研修修了者と同様に道路橋点検士への登録が可能となる、平成15年度以前の研修修了者を対象とした道路橋点検士切替技術研修会を1回実施し79名が受講した。また、平成28年度より、道路橋点検士委員会で認定した他機関が実施する道路橋の点検に関する研修等の合格者のうち、受験希望者に対し平成29年2月に道路橋点検士補検定試験を実施し、77名が合格した。

#### (2) 道路橋点検士制度

登録状況は以下のとおり。

	登録人数		国土交通省登録資格
	平成28年度	累計	
道路橋点検士	954名	5,046名	平成27年1月登録
道路橋点検士補	304名	628名	平成28年2月登録

### 1-2 自主研究

#### (1) 橋梁保全に関する調査研究

##### ①橋梁の点検・診断技術

支承の機能障害が橋梁の耐荷力に与える影響を把握するため、3次元弾塑性FEM解析による調査研究を行った。

#### (2) 国際会議への参加

以下の国際会議等に職員を派遣し、橋梁技術に関する意見発表、情報収集、研修受講を行った。

会議名	日程	会議場所
トルコ橋梁調査	4月3日～9日	イスタンブール、ヤロワ(トルコ)

IABSE(国際構造工学会) Conference Guangzhou 2016	5月7日～13日	広州
米国橋梁点検技術研修(FHWA-NHI)受講	5月14日～29日	フロリダ(アメリカ)
IBC(国際橋梁会議)2016、米国橋梁調査	6月6日～13日	ワシントン D.C. サンフランシスコ
ICMS(鋼構造に関する国際会議)2016 参加及び橋梁調査	6月13日～20日	ジェロナ・グラ(ポーランド) ワルシャワ、プラハ
IABMAS(橋のメンテナンス、安全管理に関する国際会議)2016	6月25日～7月2日	フォス・ド・イグアス(ブラジル)
19th Congress of IABSE Stockholm 2016 参加及び橋梁調査	9月19日～27日	ストックホルム コペンハーゲン
2016 fib(国際コンクリート連合)シンポジウム及び橋梁調査	11月19日～29日	ケープタウン(南アフリカ) アラブ首長国連邦

### (3) 賛助会員特別講演会の開催

平成25年度より賛助会員を対象として、橋梁調査会の取組みと時事テーマを取り上げた講演会を開催している。平成28年度は4月に元国土交通省技監の大石久和氏より「「公共事業」から「インフラストック」へ一転落するわが国を救うものー我が国の道路政策を考える」をテーマとして講演が行われた。参加者は219名である。

### (4) 第4回国際シンポジウムの開催

平成25年度より開催している、国際シンポジウム「世界の橋梁建設とメンテナンス」を11月に開催した。講演では、フランス、中国、トルコ、日本の講師から、各国の橋梁建設、橋梁メンテナンスについて報告された。参加者は396名にのぼった。

### (5) 助成

#### ① 橋梁技術に関する研究開発助成

橋梁技術に関する研究開発に関して公募し、優秀計画と認められる3件に対して、当該研究開発に要する費用の一部を助成した。

- 変断面RC・PCはりのせん断耐荷機構と設計の高度化
- 実用型壁面打音検査ロボットの開発
- 疲労き裂を有する鋼部材耐荷力の性能評価及び劣化予測に関する研究

#### ② 国際会議への参加に関する助成

国際会議において発表する予定の橋梁技術に関する論文を公募し、2件に対して会議参加費用等の一部を助成した。

- IABSE Conference Guangzhou 2016
- International Conference on Smart Infrastructure and Construction(ICSIC)

### (6) 寄附

#### ① 京都大学寄附講座（道路アセットマネジメント政策）

従来の道路に関する維持管理の状況を把握・評価し、橋梁・舗装マネジメント等の道路管理に関する政策の一環として、今度より高度で効果的・効率的なアセットマネジメントの立案及び実施方策に関して研究を行う。

設置期間：平成28年4月1日～平成31年3月31日

## (7) 支援活動

### JICA等研修への協力

JICA等が実施する途上国技術者に対する国際協力研修に講師を派遣した。

研修名	時期	参加人数
ザンビア国橋梁維持管理能力向上プロジェクト（東京）	5月16日	5名
ザンビア国橋梁維持管理能力向上プロジェクト （現地セミナー、現地指導）	6月5日～17日	81名
JICA研修「総合橋梁コース」	10月7日	14名
ウガンダ国 Jinja 橋関係者への講義（橋梁の維持管理）	11月10日	5名
国際地震工学研修（2016-2017年コース）	4月5日	9名

## 1-3 広報

### (1) 機関誌「J\_BEC レポート」の刊行

機関誌「J\_BEC レポート」Vol.12を刊行した。

### (2) ホームページを活用した広報

平成25年度に刷新したホームページの更新頻度をあげ、広報を強化した。

### (3) 各種国内会議・イベント等への協力

各地方整備局等が主催する建設技術展などのイベントに参加し、橋梁の点検技術等に関する展示を行った。

## 2 その他事業

### 2-1 調査研究業務

#### (1) 橋梁の診断業務

国土交通省の「橋梁定期点検要領」及び「道路橋定期点検要領」に基づき、直轄国道の橋梁診断業務等を実施した。

#### (2) 現場支援業務

福岡国道事務所において、福岡県南地域の橋梁の設計施工に関する技術的資料作成を行った。また、熊本河川国道事務所において、橋梁補修・補強を効率的かつ確実に行うため、橋梁の点検・診断、設計、施工に関する技術支援を行った。

#### (3) 公共工事の品質確保を目的とした調達方式のための技術支援業務

四国地方整備局が実施する総合評価方式による発注に関して、橋梁工事の入札評価手続きに関する支援業務を実施した。

(4) 次世代社会インフラ用ロボット開発導入に係る現場検証支援業務

ロボットによる橋梁点検の実施可能性を検証するため、現地検証実験の開催、各ロボット技術の評価、評価委員会の運営等の支援業務を実施した。

(5) 点検高度化に向けたインフラ構造検討業務

橋梁点検作業の安全性の確保並びに効率化、省人化のために点検作業性を高め、ロボット等による自動化を効率的に導入することを目的とした橋梁構造や点検装置の検討業務を実施した。

(6) 自治体の道路橋維持管理の支援業務

地方公共団体が実施している橋梁の維持管理全般を支援するために、橋梁の点検・診断、補修・補強に関する諸問題に対してアドバイスを行った。

(7) 道路橋の点検情報の活用に関する検討業務

平成26年度の道路法改正を受け実施された橋梁の定期点検結果について、整理、統計的分析を行うとともに、データの活用方法の検討業務を実施した。

(8) 国際技術支援業務

JICA発注のバングラデシュ国橋梁維持管理プロジェクトに参画し、道路管理者の橋梁維持管理能力が向上することをプロジェクト目標とした業務を実施している。

実施期間：平成27年7月10日～平成30年3月2日まで

## 2-2 人材育成

国土交通省及び地方自治体の職員を対象として、橋梁の維持管理等に関する研修を支援した。

## 2-3 出版

「道路橋の補修・補強計算例Ⅱ」他の図書の販売を行った。

## 3 その他

### 3-1 会議の開催

#### (1) 理事会

第9回理事会 平成28年5月24日

審議事項：平成27年度事業報告及び決算(案)について

第5回定時評議員会の招集について

報告事項：職務執行状況の報告について

第10回理事会 平成29年3月24日

審議事項：平成29年度事業計画及び予算について

(2) 評議員会

第5回評議員会 平成28年6月8日

審議事項：平成27年度決算（計算書類等）の承認について

評議員の選任について

理事の選任について

定款の改正について

評議員、理事及び監事報酬規程の改正について

報告事項：平成27年度事業報告

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年6月

一般財団法人橋梁調査会